

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	- 音読する時には、繰り返しの文やリズムを楽しみながら、意欲的に取り組む児童が多い。 - 話を最後まで聞かずに、途中で発言してしまう児童がいる。	- 教師に続いて読むだけでなく、自分たちでも抑揚をつけたり、間を空けたりする工夫をしながら読むことができるようにする。 - 話を聞くときは最後まで相手の目を見るということを徹底する。自分が発表するときにどんな聞き方をされたら嬉しいかをみんなで考える。	
算数	- 計算問題や文章問題を考える際には、どの児童もブロックを用いて意欲的に課題解決しようとする姿が見られた。 - 問題の文章を読み取り、問いに応じた答えを導き出すことに課題がある児童が多い。	- 今後もブロックを活用するなど具体的な活動場面を設定し、問題解決につなげていく。 - 文章題では「あわせて」「ぜんぶで」「のこりは」「ちがいは」などのキーワードに着目させるために、ブロックを使い、動作の違いをおさえ、問題場面をつかみやすくする。	
生活	- どの植物に対しても関心をもち、色や形などの生長の違いについて注目して観察していた。 - 学校の中や外でも、生活を支えてくれている人に気付くことはできたが、実際に感謝の気持ちをもちながら関わる児童は少ない。	- 植物の生長の変化に気付き大切に育てるように、タブレットなど活用し、生長過程の相違点を学級で共有する。 - 楽しく安全に学校生活を送ろうとする意識を高めるために、他者との関わりを通して学校生活の行動について考えたり、振り返ったりする時間を設け相手意識を高め、周りの人たちに目を向けさせる。	
音楽	- 曲の様子を感じ取って歌ったり身体を動かしたりすることを楽しみ、鍵盤ハーモニカに興味関心をもって学習に取り組めた。 - 鍵盤ハーモニカの演奏で、指遣いや基礎的な奏法（タンギング等）を身に付ける指導を丁寧に続ける必要がある。	- 曲の様子を感じ取る際のポイントを明確に伝え、言葉で表せるよう表現の仕方を広げていくために、様子を表す言葉のカード等を提示していく。 - 独立した指の動きにつながる常時活動（指の体操）を楽しみながら続け、映像による範奏を活用して視覚的に分かるようにする。	
図画工作	- 色鉛筆やクレパスなどで隙間なく丁寧に塗ることができる。 - はさみやのりの使い方に慣れていない児童がいる。	- 丁寧に塗った作品とそうでない作品を見比べることで引き続き丁寧に着色しようとする気持ちを育てる。 - はさみやのりの使い方のポイントを分かりやすく視覚的に示し、繰り返し練習する。	
体育	学習の約束や安全のきまりが定着し、教師の指	引き続き運動前にきまりや安全についての確認を行	

	示を聞いて集団に合わせた行動や整列などに取り組むことができる児童が増えた。 ・手足を同時に使うことや、体を支える運動をすることが苦手な児童もいる。	い、笛の合図などで集合や整列がスムーズに行えるようにしていく。 ・様々な動きを体験させ、支持力遊びなどの活動を通して体を支える運動を強化する。	
道徳	・登場人物の気持ちを読み取りながら、価値項目について考えを深めることができる。 ・自分事として捉えることに苦手意識をもっている児童が多い。	・気持ちを想像しやすくするために、授業内に動作化を取り入れ登場人物になりきって考えられるようにする。 ・授業の中で共有する時間を多く取り入れ、苦手意識をもつ児童も自分の考えと近い考えを探すことができるようにする。	